

英語演習 ディスコースマークー編③

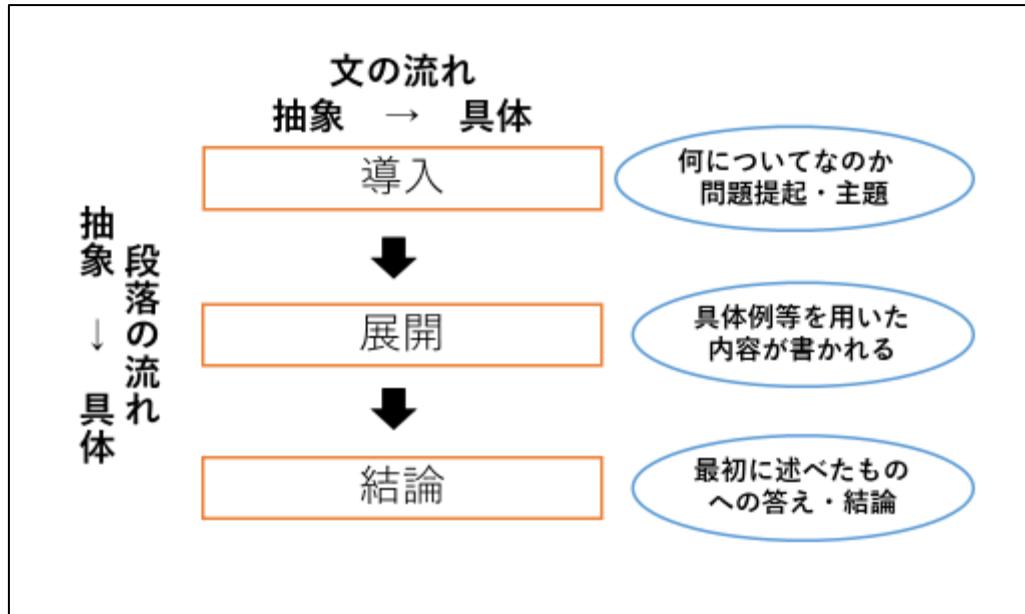
英文は「主題文」から「支持文」へ進み、最後に「結論文」を持ってくることが典型的なパターンであると確認してきました。また、英文は抽象的な表現から具体的な表現に進行していくことも確認してきました。

抽象 → 具体

本文 2 行目 they close up and shrink — that is, they become small.

(いまいちわからない) 大丈夫→ — は「言い換え」で使われるので、
shrink は「小さくなること」と理解する

これまでの既習事項を図にするとこのような感じです。



今回はディスコースマークーについて勉強します。

文と文との関係などを示す標識の役割をする語を「ディスコースマークー」といいます。

例えば、For example, という語句の後には「具体的な例」が来ますよね。

この語句がくれば、後に何が続くのかわかるものがディスコースマークーです。

ちなみに、For example, が使われるパラグラフは上の図のどれでしょう？

2つ目の「展開」ですね。

ディスコースマークーは様々なものがあり、全部覚える必要もありませんが、知っていて損はありません。ゆっくり確実に自分のものにしていくください。

では、本文で確認していきます。

第2段落 第1文

Shyness is a serious problem for many people, but it can be overcome. The challenge is how to stop being shy.

内気は多くの人々にとって深刻な問題だが、それは克服することができる。

課題は、いかにして内気であることをやめるかだ。

第3段落 第1文

First, ~. はじめに~。

First がきたら次は…Second~, Third ~, Last but not least,と続していく。これらは具体的な内容を「列挙」するディスコースマーカーである。

これら4つは何を「列挙」しているのだろうか。

それは、how to stop being shy の方法を列挙していると考える。

それを踏まえてまとめておこう。

内気をやめる方法4つ

- ① ()
- ② ()
- ③ ()
- ④ ()

最終段落 第3文 That is why it is important to overcome your shyness.

That is why ~/ そういうわけで～ は結論のディスコースマーカー

That is why ~/の前の文には結論のわけ(理由)がくる。

最終段落をまとめておこう。

結論(筆者はこう考える)内気を克服することは「」。

理由は、コミュニケーションは私たちを人間社会の「」からだ。

コミュニケーションがなければ私たちはひとりぼっちだ。

先にも述べた通りディスコースマーカーは便利ですが、とてもたくさんあるので、全部一気に覚える必要はありません。なによりも、英文が読めなければディスコースマーカーなども役に立ちません。

長文を読む際には、英文を解釈することと、文構造を理解することとを並行して練習を続けてください。